

持続可能で強靱な社会の実現は研究基盤から！

研究環境改革をオールジャパンで推進する機能強化ハブとして
皆様と共に議論を展開する1週間

研究基盤 EXPO2024

日程

2024年1月22日(月) ~ 2024年1月26日(金)

参加申込

2023年12月1日 ~ 2024年1月19日

WEBサイト内の共通申込フォームより お申込ください
<https://www.jcore2023.jp/activities/expo/expo2024/>



2024年

1月22日(月)

13:15 オープニング

岡山市

オンライン

13:30-16:30 シンポジウム「チーム共用による技術職員組織構築の過去・現在・未来」

(主催：岡山大学、共催：CORE、東京工業大学、山口大学、琉球大学)

岡山市

オンライン

1月23日(火)

10:00-12:00 TCカレッジシンポジウム～TC取得者の活躍と出口戦略の展望～

(主催：東京工業大学、共催：CORE)

オンライン

13:30-18:00 令和5年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

(主催：文部科学省、共催：CORE)

オンライン

1月24日(水)

10:00-12:05 シンポジウム「私立大学の戦略的コアファシリティ2024」

～私立大学が整備する多様なコアファシリティの役割りと意味、産官との連携～

(主催：早稲田大学、共催：東京理科大学、東海大学、JAIMA、CORE)

オンライン

1月25日(木)

10:00-17:00 第3回研究基盤協議会シンポジウム

(主催：琉球大学 共催：CORE)

那覇市

オンライン

1月26日(金)

13:30-15:00 技術職員が見える、技術力を魅せる

～技術人材活用戦略「技術スキルに見える化」を考える～

(主催：CORE 技術職員コンソーシアム)

那覇市

オンライン

15:10-16:40 ONE TEAM 若手が考える研究支援体制

(主催：CORE 若手ネットワーク)

那覇市

オンライン

16:40- クロージング

那覇市

オンライン

主催 一般社団法人研究基盤協議会 (CORE)
共催 文部科学省
協力 株式会社島津製作所、日本電子株式会社、株式会社日立ハイテク
後援 一般社団法人日本分析機器工業会 (JAIMA)

【お問合せ】 研究基盤EXPO2024実行委員会
expo2024@jcore2023.jp

2024年
1月22日 月

13:15 オープニング

会場：岡山大学鹿田キャンパス

オンライン

- 開会挨拶

江端 新吾（一般社団法人研究基盤協議会 会長）

- 来賓挨拶

柿田 恭良（文部科学省科学技術・学術政策局 局長）

- プログラム紹介

岡 征子（一般社団法人研究基盤協議会 副会長）

13:30-16:30

チーム共用による技術職員組織構築の過去・現在・未来

研究基盤の要となる技術職員の組織構築をテーマに、組織化の学内調整やチーム共用体制の検討等、組織の組成・運用での生みの苦しみやワクワクなどを4大学から事例紹介する。また、技術職員と事務職員をパネリストに、組織立ち上げから現在に至るまでのプロセスの工夫や課題対応、今後の発展など、過去・現在・未来についてパネルディスカッションを行う。今後、組織化する機関や課題を抱えている機関等の一助となる場とする。

(主催：岡山大学、共催：CORE、東京工業大学、山口大学、琉球大学)

1月23日 火

10:00-12:00

オンライン

TCカレッジシンポジウム～TC取得者の活躍と出口戦略の展望～

TCカレッジでは、研究基盤戦略を牽引する高度技術専門人財の称号であるTC（テクニカルコンダクター）を令和4年度に初めて認定しました。TC修了生は現在、研究支援や研究基盤構築などで活躍しています。本シンポジウムでは、TC取得者の活躍の場を広げる出口戦略の紹介やTC取得者の研究現場での活動状況の報告に加え、産学官協働によるオールジャパン人財養成システムに対して、TC取得者に求めることなどを議論します。

(主催：東京工業大学、共催：CORE)

13:30-18:00

オンライン

令和5年度先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

文部科学省が実施する先端研究基盤共用促進事業「先端研究設備プラットフォームプログラム」「コアファシリティ構築支援プログラム」の取り組みを通して、共用によるイノベーション創出に向けた、大学・研究機関の先進的な活動や今後の発展について真剣に議論します。

(主催：文部科学省、共催：CORE)

1月24日 水

10:00-12:05

オンライン

シンポジウム「私立大学の戦略的コアファシリティ2024」

～私立大学が整備する多様なコアファシリティの役割りと意味、産官との連携～

多くの学生の高等教育を担う私立大学は、国立大学とは多くの違いがあり、多様で特色ある経営を実施している。特に研究の環境やコアファシリティなどにも、それぞれ大学の特徴があり、戦略的な整備をしてきている（研究設備・機器のマネジメント、技術職員の状況、多くの学生実験等の取組み、機器利用者向け技術研修の提供、資金的背景、民間企業との共益的な連携など）。今回、その特徴ある取組みや工夫の数々を紹介するとともに、私立大学ならではの課題等についても議論することで、あらためて私立大学の戦略的コアファシリティが、様々なステークホルダーにもたらす役割りや意味を考えたい。

(主催：早稲田大学、共催：東京理科大学、東海大学、JAIMA、CORE)

1月25日 木

10:00-17:00

会場：沖縄県立博物館・美術館

オンライン

第3回研究基盤協議会シンポジウム

昨今、様々な地域活性化の取組みが行われる中で、地方大学にも積極的な社会・地域貢献が求められています。その中で、大学の研究教育を支える研究基盤においても、地域の課題解決等にどのように貢献できるのかを考える必要が出てきました。そこで研究基盤リソースによる専門人材の育成や研究技術（ナレッジ）の提供、各種研究機器・設備の学外利用等の多角的な観点から議論を行うことで、研究基盤が地域力向上へどのように寄与できるのかを考えます。

(主催：琉球大学、共催：CORE)

1月26日 金

13:30-15:00

会場：沖縄県立博物館・美術館

オンライン

技術職員が見える、技術力を魅せる

～技術人材活用戦略「技術スキルの見える化」を考える～

TAMARIBAイベント第1弾・第2弾で、企業経験者を通じた技術職員の魅力や人材育成について議論を行い、技術職員の広報戦略やキャリアプラン形成における各種情報共有が重要である事が明らかになった。

第3弾ではこれまでの議論を踏まえ技術職員の「見える化」をテーマに、技術情報の集約による教育・研究促進、人材獲得など、技術人材活用戦略への可能性について議論します。

(主催：CORE 技術職員コンソーシアム)

15:10-16:40

会場：沖縄県立博物館・美術館

オンライン

ONE TEAM 若手が考える研究支援体制

研究基盤協議会若手ネットワークでは、技術職員、URA、事務職員、学生それぞれの立場から研究環境に関する議論を重ねてきた。日本学術会議の若手アカデミーでも「イノベーション創出のために今取り組むべき10の課題」を取りまとめ、研究支援体制の改善に向けた課題を挙げている。研究環境を現場から改善していくために、研究者と研究を支える専門人材同士で課題を共有し合うことは重要である。当日は若手の視点から研究基盤の強化及び今後の活動について議論したい。

(主催：CORE 若手ネットワーク)

16:40- クロージング

- 講評

稲田 剛毅（文部科学省科学技術・学術政策局研究環境課 課長）

- 閉会挨拶

植草 茂樹（一般社団法人研究基盤協議会 副会長）

主催

共催

協力

後援